



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベルク

コード番号 9974

URL https://www.belc.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 上田 英雄

(TEL) 049-287-0111

四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	175,836	5.3	7,105	1.9	7,577	4.3	5,116	9.0
2019年2月期第3四半期	167,027	7.5	6,970	0.9	7,265	0.2	4,695	△5.4

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 5,121百万円(8.8%) 2019年2月期第3四半期 4,704百万円(△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	245.18	—
2019年2月期第3四半期	225.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	122,479	67,138	54.8
2019年2月期	115,844	63,498	54.8

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 67,138百万円 2019年2月期 63,498百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	34.00	—	36.00	70.00
2020年2月期	—	35.00	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年2月期期末配当の内訳 普通配当34円00銭 創業60周年記念配当2円00銭

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,996	2.4	10,001	1.9	10,513	1.4	6,968	6.0	333.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	20,867,800株	2019年2月期	20,867,800株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	932株	2019年2月期	900株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	20,866,870株	2019年2月期3Q	20,866,915株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の業績予想の前提条件その他事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続くことが期待されます。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動影響等、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向、業種・業態を越えた競争の激化及び困難な状況が続く人材確保等、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客さまに支持され信頼される店舗づくりを推進いたしました。

主な取り組みにつきましては、以下のとおりであります。

販売政策におきましては、ポイントカード販促、キャッシュレス割引販促及びチラシ価格の強化を行い、スマートフォンアプリ「バルクアプリ」の機能拡充により、お客さまの来店動機を高め、生活働事に合わせた売場づくり、品切れの削減及び接客レベルの向上を引き続き行うことにより、固定客化を図る取り組みを実施いたしました。また、移動スーパーの展開により、高齢者等に対する買物支援の取り組みを行いました。

2019年4月には創業60周年を迎え、お客さまからの永年のご愛顧に感謝し、「創業60周年記念セール」を実施いたしました。

商品政策におきましては、より良い産地からの商品調達、直輸入商品の開発を行うことにより、品質の良い商品をお求めやすい価格にてご提供いたしました。また、自社ブランド「くらしにバルク kurabelc (クラベルク)」の取扱いを拡大し、毎日の暮らしにうれしい商品をお求めやすい価格にて順次発売いたしました。

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にLSP(作業割当システム)の定着化、適正な人員配置、省力器具の活用による効率的なチェーンオペレーションを推進いたしました。また、さらなる商品力強化、サービスレベル向上を図るため、各種研修プログラムの充実を行い、従業員教育の強化に取り組みました。

店舗投資におきましては、2019年5月神奈川県伊勢原市に「伊勢原白根店」、7月群馬県前橋市に「前橋北代田店」、10月埼玉県東松山市に「東松山東平店」、千葉県野田市に「野田尾崎店」を新規出店し、8月群馬県伊勢崎市の「伊勢崎スマーク店」を閉店したことにより、2019年11月末現在の店舗数は114店舗となりました。また、競争力の強化及び標準化の推進のため、既存店6店舗の改装及び1店舗の建て替えを実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買物空間を提供するための設備の更新、生産性向上を目的にセミセルフレジ導入等を推進いたしました。

物流体制におきましては、自社物流の強みを活かし、商品を産地やメーカーから大量一括調達することにより配送効率を高め、商品の価格強化、品質の安定化を目指しました。また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

なお、埼玉県大里郡寄居町の第1センターにて、設備更新のための改修工事を行ったため、それに伴う費用を計上しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、営業収益(売上高及び営業収入)が175,836百万円(前年同期比105.3%)、営業利益が7,105百万円(前年同期比101.9%)、経常利益が7,577百万円(前年同期比104.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益が5,116百万円(前年同期比109.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,634百万円増加し122,479百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,924百万円増加し19,721百万円となりました。この主な要因は、売掛金が2,162百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4,709百万円増加し102,758百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が1,937百万円及び土地が483百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2,995百万円増加し55,341百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,802百万円増加し29,906百万円となりました。この主な要因は、買掛金が1,745百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,192百万円増加し25,434百万円となりました。この主な要因は、長期借入金1,950百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,639百万円増加し67,138百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が3,634百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、2019年4月15日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,957	6,469
売掛金	940	3,103
商品及び製品	6,273	7,344
原材料及び貯蔵品	121	139
その他	3,503	2,664
流動資産合計	17,796	19,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,672	50,610
土地	29,989	30,473
その他(純額)	5,928	8,066
有形固定資産合計	84,590	89,149
無形固定資産		
投資その他の資産	1,359	1,418
繰延税金資産		
繰延税金資産	1,800	1,440
差入保証金	7,761	8,007
その他	2,593	2,798
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	12,098	12,189
固定資産合計	98,048	102,758
資産合計	115,844	122,479

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,246	14,991
短期借入金	800	800
1年内返済予定の長期借入金	4,717	5,098
リース債務	1,350	1,197
未払法人税等	1,879	608
賞与引当金	908	318
役員賞与引当金	80	60
ポイント引当金	340	357
店舗閉鎖損失引当金	123	—
その他	4,657	6,475
流動負債合計	28,104	29,906
固定負債		
長期借入金	12,645	14,596
リース債務	2,974	2,236
役員退職慰労引当金	206	219
退職給付に係る負債	118	74
預り保証金	3,934	3,773
資産除去債務	3,715	3,944
その他	647	590
固定負債合計	24,241	25,434
負債合計	52,346	55,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,912	3,912
資本剰余金	4,102	4,102
利益剰余金	55,597	59,231
自己株式	△1	△1
株主資本合計	63,611	67,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	△2
退職給付に係る調整累計額	△117	△104
その他の包括利益累計額合計	△112	△107
純資産合計	63,498	67,138
負債純資産合計	115,844	122,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	164,940	173,888
売上原価	123,037	129,350
売上総利益	41,903	44,537
営業収入	2,086	1,947
営業原価	744	1,031
営業総利益	43,245	45,454
販売費及び一般管理費	36,275	38,349
営業利益	6,970	7,105
営業外収益		
受取利息	27	30
受取配当金	1	1
受取事務手数料	292	345
固定資産受贈益	—	65
債務勘定整理益	10	15
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	113	99
営業外収益合計	445	558
営業外費用		
支払利息	94	78
貸倒引当金繰入額	51	—
その他	5	7
営業外費用合計	151	86
経常利益	7,265	7,577
特別利益		
移転補償金	—	129
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	6
特別利益合計	—	135
特別損失		
固定資産除却損	72	102
減損損失	225	—
災害による損失	—	19
店舗閉鎖損失引当金繰入額	123	—
特別損失合計	421	121
税金等調整前四半期純利益	6,844	7,591
法人税、住民税及び事業税	2,075	2,117
法人税等調整額	73	358
法人税等合計	2,148	2,475
四半期純利益	4,695	5,116
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,695	5,116

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	4,695	5,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△7
退職給付に係る調整額	20	12
その他の包括利益合計	9	5
四半期包括利益	4,704	5,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,704	5,121
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。